

参加報告書 (インドネシア・ブディルフル大学)

① 本プログラム参加のきっかけ・目的について (200 字以上)

熱帯に住む人々は親切な人が多いという話を聞いていたため、熱帯に行ってみたかった。そして去年同じプログラムに参加した同級生の話や、先輩の話を聞いたところ、インドネシアという国に非常に興味を持った。また、夏休みを通してなにかボランティア活動に参加したいと思っていた上、大学生のうちに短期的に海外経験をしておきたかったため、もともと関心のあったインドネシアに行くことにした。このプログラムを通して、国際交流を深めて視野を広げ、自分の価値観を変えるきっかけになればいいと思った。

② プログラム内容について (各項目 200 字以上)

1. ボランティア活動・ワークショップについて

今回はお弁当を作って地域の人に配ったり、高校生に日本文化について紹介したり、高校を訪問してワークショップを開催したり、多くの国際交流を行うことができた。それらのすべてが貴重な機会であり、異文化を体感する場となったため、有意義であった。また、ボランティア活動を通してバディーの方々とも絆を深めるきっかけにもなり、印象に残っている。日本にいただけでは体験できないような活動がほとんどであり、個人的に孤児院を訪問した日は、日本の孤児院にも行ったことがなかったので、印象的であった。

2. 授業 (インドネシアの歴史や文化、インドネシア語) について

バディーの方々が逐一助けてくれたので、インドネシア語に困ることはほとんどなかった。一度だけ FREE DAY にタクシーで寮まで帰る際に住所が若干ずれていたため寮にたどりつかず困ったことがあったが、翻訳アプリを使ってなんとかコミュニケーションをとることが出来た。インドネシアの料理は個人的にとってもあっていたため、日本食を食べたくなることはほとんどなかった。お米を 7 パック持って行ったが、すべて食べることができなかつたうえ、現地でも安く購入できるので持っていかななくてもよかったと思う。一方、お味噌汁のものは多めに持参するとよいと感じた。

3. フィールドトリップ (バンドンツアー) について

バンドンはジャカルタと違う良さがあって、とても新鮮な旅になった。高速新幹線はとても早くて楽しかった。また、昼食や夕食は綺麗なレストランに連れて行ってもらい、優雅な時間を過ごすことが出来た。ホテルはとてもきれいで、ゆっくり休むことができた。翌朝の散歩は気温もちょうどよく、印象に残っている。その後昼食を伝統的なインドネシア料理を提供されるレストランで食べたが、自分の手を使って食べるという貴重な経験を得ることができ、とても興味深かった。

③ 本プログラムへの参加によって得たこと、および感想 (200 字以上)

このプログラムで得たことは実にたくさんある。特に、言語を超えた異文化交流によって、日本以外の文化に対する興味は今まで以上に増した。また、インドネシアの人々は日本文化について興味関心を示してくれたため、私自身の日本文化への誇りを持つきっかけにもなった。日本文化がこんなにも海外で評価されていること

を体感する機会はなかったため、いい機会になったと同時に、海外に広めていきたいと感じた。また、バディーの方々とともに仲良くなったため、国を超える友達を得たということも、本プログラムに参加したことの大きな利点であると思う。

④ 現地での生活等について（今後参加する学生へのアドバイス含む）

1. 滞在先の治安・キャンパス・施設について

バディーの方々がついてくれていたので、盗難にあうことはなかった。最後の方は近所のスーパーに自分たちだけで買い物に行くこともあった。キャンパスは寮から車で 20 分ほどのところにあり、設備は整っていた。

2. 食事について

インドネシア料理は本当においしく、日本食を恋しく思うことはなかった。ただ体調を崩さないよう、レトルトのお味噌汁などを持っていくことをおすすめします。朝ごはんはヨーグルトを食べたかったため、ヨーグルトと果物を常備した。また、近所のスーパーにある Mixue という飲み物屋さんでレモネードを安く買えるため、よく飲んでいました。

3. 交通手段について

学校が用意してくれる車が基本であった。休みの日は、タクシーにのってモールに行ったりした。バンドンへは高速新幹線を使っていった。

4. 通信環境について

WIFI は基本的に弱いので、SIM を用意することをおすすめします。私個人的には、設定も簡単なので e-SIM を強く勧めます

5. 買い物事情について

休みの日にモールで服やカバンを買ったり、バディーとおそろいのアクセサリーを購入したり、日本での生活と同じような買い物事情であった。物価は基本的に安い。スターバックスやマクドナルドなど世界的なチェーン店では日本と同じような物価であった。日々の食費はそこまで高くない。伝統衣装のバティックも購入した。また、インスタントコーヒーやインスタント麺、お菓子などをお土産として購入した。

6. 医療事情について

最後の週に 39.5 度の熱が出たため病院に行った。先生が同伴して下さり、学校が用意して下さった車で病院へ向かった。J クリニックなので日本語がある程度通じたため、問題はなかった。

7. その他、現地での生活等に関して、参考となることがあれば教えてください

—

以上